

令和4年度

(簡易水道特別会計)

主要な施策の成果の説明

芽室町

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道費	1	総務管理費	1	一般管理費	140124	簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業

事務事業名 簡易水道(上美生・美生・河北)施設維持管理事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道施設を正常に機能させ、安全安心な水道水を安定的に供給するため維持管理事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、老朽化が課題となっている。また既存資料についても紙ベースでの保存であり、今後の維持管理に支障がでる恐れがある。 令和4年度は令和4年11月より翌年2月までの間物価高騰対策として水道基本料金を減免しているため、有収率が59%となっている。(減免しない場合の有収率は64.5%)また、河北簡易水道において道営農用水事業河北地区の配水本管及び給水管切替に伴い排泥作業を行っているため、有収率が低下している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 長期にわたり施設を利用できるよう点検や整備を行い、既存施設を運用しながら修理や補強を行うことが必要となる。 今後も継続的に維持管理できるよう、既存施設の台帳整備を実施する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	50,730	31,230	37,000
		一般財源	円	31,491,687	33,212,304	25,336,000
	事業費計(A)	円	31,542,417	33,243,534	25,373,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.7489	0.6462	
人件費計(B)		円	5,833,756	5,022,014		
	トータルコスト(A+B)	円	37,376,173	38,265,548		
活動指標	修理した機器	基	6	3	5	
	修理した施設・管路	箇所	7	15	8	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
給水工事設計審査等手数料	円	50,730	31,230	35,000
給水工事設計手数料	円			1,000
簡易水道配水管路破損弁償金	円			1,000
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 簡易水道の概要

区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道	合計				
事業創設許可年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-				
供用開始年月日	昭和43年11月21日	昭和59年4月9日	昭和60年6月24日	-				
計画給水人口	310人	600人	1,160人	2,070人				
2022年度末給水人口	279人	402人	906人	1,587人				
給水戸数	92戸	97戸	241戸	430戸				
計画給水量	108m3/日	240m3/日	1,010m3/日	-				
一日最大給水量	240m3/日	192m3/日	1,160m3/日	-				
年間総給水量	45,839m3	39,722m3	229,028m3	314,589m3				
年間有収水量	減免有 17,113m3	減免有 30,543m3	減免有 138,057m3	減免有 185,713m3				
	減免無 20,017m3	減免無 34,636m3	減免無 148,277m3	減免無 202,930m3				
有収率	減免有 37.3%	減免有 76.9%	減免有 60.3%	減免有 59.0%				
	減免無 43.7%	減免無 87.2%	減免無 64.7%	減免無 64.5%				
施設の設備	取水井戸	1	取水井戸	1	取水井戸	3	取水井戸	5
	配水池V=140m3	1	配水池V=170m3	1	配水池V=663m3	4	配水池V=973m3	6
	取水ポンプ	1	取水ポンプ	1	取水ポンプ	3	取水ポンプ	5
	薬液注入設備	2	薬液注入設備	2	薬液注入設備	6	薬液注入設備	10
	管理棟	1	管理棟	1	管理棟	1	管理棟	3
	電気計装設備	1	電気計装設備	1	電気計装設備	1	電気計装設備	3
			除鉄・除マンガン設備	2	除鉄・除マンガン設備	3	除鉄・除マンガン設備	5
			送水ポンプ	2	配水ポンプ	3	送水ポンプ	2
							配水ポンプ	3

2 管路延長調書

区分	上美生簡易水道	美生簡易水道	河北簡易水道	合計
導水管			477 m	477 m
配水管	10,648 m	40,342 m	118,707 m	169,697 m
送水管		1,558 m	m	1,558 m

3 機器・施設・管路の修理に要した費用

(1)修繕費	機器	3 箇所	12,355,200円
	施設・管路	15 箇所	10,489,600円
			1,865,600円

4 特定財源内訳

(1)給水工事設計審査等手数料	12 件	31,230円
		31,230円

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道費	2	建設事業費	1	配水本管整備費	140125	簡易水道配水本管等整備事業

事務事業名 簡易水道配水本管等整備事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 簡易水道配水管更新工事及び給水工事(公道部)を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 配水本管及び給水装置の新設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 水道水の安定供給及び未普及世帯への供給

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、今後漏水量の増加が懸念される。河北簡易水道においては、道営営農用水事業河北地区との合併施工で送配水管及び重要路線の布設換えを計画している。 令和4年度は令和4年11月から翌年2月までの間、物価高騰対策として水道基本料金を減免しているため、有収率が59%となっている。(減免しない場合の有収率は64.5%)また、河北簡易水道において道営営農用水事業河北地区の配水本管及び給水切替に伴い排泥作業を行っているため、有収率が低下している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 河北簡易水道においては、引き続き道営事業との合併施工にて配水本管の布設換えを実施し、既設給水管については町で切替工事を実施する。上美生簡易水道区域においては、耐用年数を超過している管路の布設換えを実施する。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円	44,200,000	42,600,000	8,700,000
		その他(使用料等)	円	558,030	343,530	390,000
		一般財源	円	19,457,770	16,860,170	16,276,000
	事業費計(A)	円	64,215,800	59,803,700	25,366,000	
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2155	0.2402	
人件費計(B)		円	1,678,695	1,866,741		
		トータルコスト(A+B)	円	65,894,495	61,670,441	
活動指標	給水工事件数(公道部)	件	6	2	4	
	配水管更新及び移設延長	m	1,231	848	0	

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
簡易水道事業負担金	円	558,030	343,530	390,000
簡易水道施設整備事業債	円	44,200,000	42,600,000	8,700,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 配水管更新の内訳

工事名	工事費(円)	財源内訳(円)	
		起債	一般財源
上美生配水管布設換工事	42,658,000	42,600,000	58,000

2 給水工事の内訳

区分	件数	公道部 工事件数	公道部 工事費(円)	財源内訳(円)	
				事業負担金	一般財源
給水装置工事申請件数	12	2	425,700	343,530	82,170

3 河北簡易水道再整備に伴う給水切換工事の内訳

工事名	切換工事箇所数	工事費(円)
河北簡易水道給水切換工事(1・4・8号配水管)その1	13箇所	5,577,000
河北簡易水道給水切換工事その2(第1・2号配水管)	25箇所	11,143,000
計	38箇所	16,720,000

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
工事請負費						
簡易水道公道内 給水工事 (西土狩北4線)	201,300			201,300		石崎設備工業(株) R4.6.28~R4.7.15
簡易水道公道内 給水工事 (西土狩北7線)	224,400			142,230	82,170	昭建設備工業(株) R4.5.30~R4.12.2
河北簡易水道給水 切換工事(1・4・8号 配水管)その1	5,577,000				5,577,000	石崎設備工業(株) R4.5.17~R4.9.30
上美生配水管布設 切換工事	42,658,000		42,600,000		58,000	(株)宮間工業 R4.5.20~R4.12.26
河北簡易水道給水 切換工事その2(第 1・2号配水管)	11,143,000				11,143,000	石崎設備工業(株) R4.9.16~R5.2.17
工事請負費	59,803,700		42,600,000	343,530	16,860,170	
合計	59,803,700		42,600,000	343,530	16,860,170	

款		項		目		事業番号	決算書上の事業名
1	簡易水道費	2	建設事業費	2	給水設備費	140126	簡易水道給水設備事業

事務事業名 簡易水道給水設備事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)
計量法に基づき量水器の更新取替及び新規に給水設備を設置する方に町で量水器を購入し貸付を行う。

2. 対象(何を対象にしているか)

量水器

3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

正確な有収水量の計測

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題

簡易水道区域の水道水使用料を検針するため、計量法対象量水器を町で購入し、貸付を行っている。また計量法で計量器製造後8年を経過した量水器は更新するよう定められている。

2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

設置または更新後8年を迎える年に更新を行う。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,106,264	289,264	69,000
		一般財源	円	1,724,146	2,432,026	2,461,000
		事業費計(A)	円	2,830,410	2,721,290	2,530,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1731	0.1649	
人件費計(B)		円	1,348,408	1,281,538		
		トータルコスト(A+B)	円	4,178,818	4,002,828	
活動指標	更新取替台数		台	80	83	55
	新設台数		台	8	2	5

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
量水器口径別負担金	円	969,100	180,400	68,000
検満量水器売払代金	円	137,164	108,864	1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 検満量水器更新に要した費用

区分	量水器購入費		更新工事費(円)	合計(円)
	台数	金額(円)		
検満用	83	1,272,480	1,419,000	2,691,480

2 新設用量水器購入に要した費用

区分	量水器購入費	
	台数	金額(円)
新設用	2	29,810

3 特定財源内訳

			289,264円
(1)量水器口径別負担金	2	台	180,400円
(2)量水器売払代金	178	kg	108,864円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
工事請負費						
簡易水道検満量水器 取替工事 φ13～φ40mm 83台	1,419,000				1,419,000	石崎設備工業(株) R4.4.25～R4.9.30
工事請負費計	1,419,000				1,419,000	
備品購入費						
新設用量水器 (2台) φ20mm 1台 φ25mm 1台	29,810 (14,410) (15,400)					単価契約 愛知時計電機(株)鉏路営業所 (株)富士計器
検満用量水器 (83台) φ13mm 1台 φ20mm 74台 φ25mm 5台 φ40mm 3台	1,272,480 (13,310) (1,066,340) (77,000) (115,830)			289,264	1,013,026	単価契約 アズビル金門(株)鉏路営業所 愛知時計電機(株)鉏路営業所 (株)富士計器 (株)富士計器
備品購入費計	1,302,290			289,264	1,013,026	
合計	2,721,290			289,264	2,432,026	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
1	簡易水道費	2	建設事業費	3	施設整備費	140127	簡易水道施設整備事業

事務事業名 簡易水道施設整備事業

(1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 老朽化する水道施設に関して改築更新などを計画的に行い、安全安心な水道水を安定的に供給できるよう事業を実施する
2. 対象(何を対象にしているか) 簡易水道施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 簡易水道施設を正常に機能させる

(2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 上美生簡易水道、美生簡易水道、河北簡易水道の3簡易水道が供用開始され、30年以上が経過しており、老朽化が課題となっている。 河北簡易水道については、夏場の水量不足や施設の老朽化を解消するため、平成26年度より道営営農用水事業河北地区との合併施工にて再整備を実施している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 河北簡易水道においては、引き続き道営事業との合併施工にて再整備を実施していく。 美生簡易水道については、今後老朽化が進んでいくことから事業の内容、緊急性など優先度を見極め計画的な更新を実施していく。

(3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2021年度	2022年度	2023年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円	367,100,000	228,900,000	263,900,000
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	15,197,100	14,810,170	23,034,000
		事業費計(A)	円	382,297,100	243,710,170	286,934,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2155	0.2241	
人件費計(B)		円	1,678,695	1,741,618		
		トータルコスト(A+B)	円	383,975,795	245,451,788	
活動指標	更新した機器		基	6		1
	更新した施設		箇所	1		

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2021年度	2022年度	2023年度
簡易水道施設整備事業債	円	367,100,000	228,900,000	263,900,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 河北簡易水道再整備に要した費用

名称	負担金(円)	財源内訳(円)	
		起債	一般財源
河北地区営農用水事業負担金	228,911,760	228,900,000	11,760